

(■トラック06～ お店には内緒でキスハメ生セックス、しちゃおっか♪

花蓮 「わあ♪ ボクくん、今日もいらっしやい♪
こんなにしょっちゅう来てくれるようになったちゃって・・・
お姉さん、嬉しいわ～♪

んんっ
ちゅばれろちゅばべちよちゅばっ・・・！

(■※ディープキス20秒)

真由莉「今日もいらっしやい、ボクくん・・・。

でも、大丈夫・・・？
このお店、かなり高いでしょう・・・？
ボクくん、まだ社会人じゃないのに・・・
お金、大丈夫・・・？

え？ 今日は少し、お友達から借りて来たの・・・？
う～～～～ん・・・。

花蓮 「もう、すっかり私たちにズブズブじゃない・・・♪
でもダメだぞ～？
ちゃんと自分で働いたお金で、来るんだぞ～？

まあでも、それだけ私たちに夢中って事よね♪
もう払っちゃったものは仕方ない、
今日もまた、いっぱい抜いてやるからな～♪

ちゅっ♪

～間～

花蓮 「(■※ディープキス 10秒)

っふぁ…♪

おーおー、今日もキスだけで、

おちんちん、ガッチガチだねえ…♪

ふふ、な～に～？

さっきからぐりぐり…。

キスしながらそんなにお腹に押し付けてきて…♪

ふんふん…。

え？ 今日は本番… したいの…？

う～～～～ん…。

ボクさんのお願いでも、それだけはね…♪

このお店、本番は禁止だからね。

その辺すつつごく、厳しいの…。

私たちだけじゃなくて、他の小町だって、

絶対みんな、本番だけはしてないと思うよ～？

真由莉「(■※少しマイクから離れた位置から)

花蓮さん、ちょっと…

花蓮 「(■※少しマイクから離れながら)

ん？な～に～？

(■※少しこそこそした感じ。自然な感じで。)

うん… うんうん…。

あ～～～ね…？

う～～～ん…。 うん、私はいいわよ～。

花蓮 「(■※マイク、元の位置に戻って)

よ～し、しょうがないな～。
ボクくん、今日だけは特別に、
本番、させてあげても、いいわよ・・・？

た・だ・し・・・！

真由莉「次からは、ちゃんと働いて、
ボクくんのお金で、誰にも迷惑かけずに来ること・・・。
いい？ 約束出来る・・・？

真由莉「(■※耳元ゼロ距離)

その代わり、今日は好きなだけ、
本番させてあげる・・・♪

蕩けるようなセックスで、
ボクくんの初めて・・・奪ってあげるわ・・・？

私たちのおまんこを、
気持ちよ～～～く・・・
生でいっぱい使わせてあげるから・・・♪

ちゃんと約束してね♪ ボクくん・・・♪

(～間～)

花蓮「それじゃ、入れるわよ～♪

ぬふふふふふ～～～～・・・♪

んっ・・・ はぁ・・・♪

真由莉(■※マイク左よりで)

「まあ、花蓮さんのおまんこの中に、
おちんちん、ぬっぷし…入っちゃったね…♪

(■※マイクゼロ距離)

ついにセックス…♪ しちゃったね…♪

花蓮「あは♪ 童貞卒業、おめでと～♪

んっ はあ…♪

騎乗位はやっぱ深いところまで、
おちんちん… 入っちゃうよねえ…♪

え？ ふふ… もう気持ちいいの…？
まだまだこれからよ～～♪

じゃあ、動いちゃうね…♪

ん、はあ…♪ んっ… あっ… はあ…♪

(■※ゆっくり喘ぎ声 30秒ほど)

真由莉「うふふ、始まっちゃったね…♪

お店では絶対に禁止の、本番セックス…。
しかもナマで…。

ほら？ 気持ちいい…？
初めてのセックス…
初めてのナマセックス…♪

でも、忘れないでね…？
ここは接吻亭、なんだから…♪
私もキスでお手伝いするから…
一緒に気持ちよくなろうね…♪
んっ…♪

(■※優しいディープキス 30秒)

花蓮「んあっ♪ はあ、おちんちん、かったあい…♪
気持ちいいとこに当たって… ふふ、
私、ボク君と相性いいのかも…♪

あ、はあ…♪
じゃ、少しペース、上げるよ…？

(■※少しだけペースアップ)

ん、あ、 はあ… んっ はあ…♪
ほら、ぱんぱん♪ ぱんぱん♪
あ、 はあ… ん… はあ…♪
ずっぷずっぷ♪ ぬっぽぬっぽ♪

ん は、あん♪ あっ…♪
気持ちいいね…♪ あんっ あっ…♪
お店に内緒でハメハメするの…♪
あ、ん、 はっ…

おまけに相手はこんなショタっぽい子で…
しかも初めて奪っちゃって…♪
あん、あ、はっ…
ふふ、何だかお姉さんたち、
すっごくイケない事してるみたい…♪
は、背徳感ヤバあ…♪

ん。はっ あっ あっ…
今日はいっぱい、ハメハメしてあげるね…♪
おまんこ使って、ボクくんのおちんぽ、
気持ちよ〜〜〜〜く、
しごいてあげるからね…♪

(■※喘ぎ声40秒ほど)

真由莉「ほら、見て…？
ボクくんのおちんちんが…
花蓮さんのおまんこに、
ぬっぷぬっぷ…ぬっぷぬっぷって…♪

出たり入ったりしてるの…
モロに見えちゃって、すっごくエッチね…♪
見て…？ ほら…♪

ぬっぽぬっぽ… ぬっぽぬっぽ…♪
ぬっぽぬっぽ… ぬっぽぬっぽ…♪

部屋中にエッチな音や
可憐さんの甘い声を響かせて…
オスとメスの甘〜い交尾…
しちゃってるね…♪

花蓮 「もう…♪
その蕩けた顔、堪らなあい…♪
私もキスしちゃお♪

(■※マイク正面に近づいてキス)

んちゅるっ ちゅばべちよちゅばっ…
んん〜〜〜♪

(■※キスしながらの喘ぎ声(キスハメ) 40秒ほど)

真由莉「あらあら♪ おくち、取られちゃった…♪

(■※左耳に近づいて)

じゃあ私はお耳、いっぱい…舐めちゃうね…♪
れろちゅばれろちゅば…
今はいっぱい…お耳責められながら、
花蓮さんとのキスハメ、楽しんでね…♪

(■※耳舐め 30秒ほど)

(■自分用メモ…しばし水音だけの時間)

花蓮 「つぶあ…♪ はあ、気持ちいいね…♪
上のお口でも…下のお口でも
交尾するの…♪ んっ…♪

私もボクくんを食べちゃってる！ って感じがして…
んあっ あっ…♪
とっても興奮しちゃう…
んんっ ん、ちゅばっ んっ

(■※キスハメ 30秒ほど)

真由莉「ボクくん…

可憐さんに食べられちゃってるね…♪
ちゅばちゅば…
初めてのセックスで、緊張でいっぱいなのに…
散々一方的に食られて…
おちんちん絞られて…
もみくちやにされて…

ちゅばちゅばちゅば…
もう快樂でおかしくなっちゃいそうだね…♪

(■※耳舐め 40秒)

花蓮 「ああん ♪ 可愛いなあ… ♪
ほら、もっとペース、上げるよ…？
ぬぽぬぽぬぽぬぽ… ♪
ぱんぱんぱんぱん… ♪
ぬぽぬぽぬぽぬぽ… ♪
ぱんぱんぱんぱん… ♪

ん？ もうイキそうなの…？
いいよ…♪ じゃあキスハメしたまま、
遠慮なく中に出しちゃおっか ♪
初めてのセックスで…
初めてのナマエッチして…
初めてのナマ中出し…キメちゃおっか…♪

ん、あ、あっ♪

いっぱい出して・・・？ ボクくん・・・♪

ちゅばちゅばれろちゅばちゅば・・・

【■※キスハメ 20秒】

【■※射精】

んっ！？

んあ・・・♪ ちゅ・・・ んん・・・ ちゅ・・・ ちゅば・・・

れろ・・・ ん・・・ ちゅ・・・ れろ・・・ ちゅ・・・

ちゅ・・・ んん・・・ ちゅ・・・ ちゅば・・・

ん・・・ ちゅ・・・ れろ・・・ ちゅ・・・♪

真由莉「まあ・・・♪ 出しちゃったわね・・・♪

可憐さんの中に中出し・・・♪

キスハメしたまま、気持ちよ～く

びゅっびゅっ・・・♪ びゅっびゅっ・・・ って・・・♪

いっぱい中出し、しちゃってるね・・・♪

ちゅばれろちゅばちゅば・・・♪

花蓮 「っふぁ…♪

はぁ… 射精、終わった…？
ふふ、射精後もそんなにびくびくして…♪
そんなに気持ち、良かった…？

んっ… じゃあ、おちんちん、抜いちゃうね…♪

ぬぶぶぶぶ～～～っ…♪

んはっ…♪

真由莉「(■※マイク、フェラ位置くらいまで離れて)

まあ…♪ すごい…♪
可憐さんのおまんこから、
濃い精液が、ごぼお～って… たっぷり♪

とんでもない量の精液、
花蓮さんに搾り取られちゃったのね…♪

花蓮 「はぁ…♪

ボクくんの事、いっぱい食べちゃった…♪

んんっ…むちゅちゅばれろちゅばちゅばっ…
ボクくんもすっごく気持ち良かったの…？

ふふ、良かった…♪

え？ 赤ちゃん…？

あは、大丈夫よ～？

私、ちょっと女の子の日が重くてね～…。
普段からちよくちよく、
ピル飲んでるんだ～…♪

でもおかげで、今日はボクさんとセックス、出来ちゃった・・・♪
ボクくん、ラッキーだったねえ・・・。

んんっ・・・♪

(■※ディープキス 15秒)

あん♪ またおちんちん、ビクビクしてる・・・♪

真由莉「もう、ふたりとも熱いんだから・・・♪
見てるこっちまで身体が熱くなっちゃうわ・・・。

花蓮 「それじゃあ・・・そろそろ交代、しよっか♪

(■※マイク右側に移動しながら)

真由莉さん、つぎ、お願いね～♪

真由莉「は～～い・・・。

(■※マイク正面側に移動)

じゃあ、次は私が上に、乗っちゃうね・・・♪
また硬くなっちゃったおちんちんを・・・
んっ・・・♪

ずぶぶぶぶぶぶぶ～～～～～・・・♪

んっ・・・ はあ・・・♪
ほら、おまんこで、おちんちん、
にゅっふんって・・・ 食べちゃった・・・♪

んあっ…♪
もう気持ち良くて、
中で暴れたくてびくびくしてるね…♪
ほんと元気なんだから…♪

ふふ、それじゃ、動くね…？

ん、はっ… んっ んっ…

(■※喘ぎ声 20秒ほど)

花蓮「真由莉さんの中…気持ちいい…？
あったかい…？

いっぱい甘えさせて貰おうね～♪
いっぱいハメハメして…
ぬぼぬぼパコパコして…。
気持ちよ～～くぴゅっぴゅしようね～♪

ほら、接吻…しょ？

んんっ…

(■※優しくディープキス 30秒ほど)

真由莉「あん♪ ボクくんたら…
自分から腰も振っちゃって…♪

ふふ、上手よ…？
おまんこにいっぱいハメハメ…出来てるわよ…？
んあ、あっ…♪ あっ♪

おまんこ、パコパコ…♪
おちんぼ、ぬぼぬぼぬぼ…♪

ふふ、吸い付くようなおまんこで、
おちんぼこすられるの、気持ちいいの…？
んっ あっ は、 あっ…♪

じゃあ、私もペース、上げちゃうね…♪

(■※少しペースアップ)

んあっ あっ♪ あっ ん、 あっ…♪

(■※喘ぎ声 30秒ほど)

花蓮 「わあ、すごい…♪
真由莉さんの、なっっ…がとおっぱいが、
揺れてるなんてもんじゃないくて…
ほんとにブルンブルン弾んじゃってるね…♪
すっっ…ごい迫力…！

ちよっとお、ボクくん、
おっぱい、ガン見しすぎだよ…？

ここは接吻亭なんだからね…
ちゃんとお口も、楽しんでよね…。
んんっ…

(■※ディープキス 30秒)

真由莉「ん、 あっ はっ…♪
おちんぼ、ずっと気持ちいい？
ぬっぽぬっぽ、ずっぽずっぽ…♪

おまんこハメハメ…
おまんこハメハメ……♪
今日は、いくらでも
おまんこで、おちんぼ擦っていいからね…♪
ん、あ、 あっ♪

たっぷり気持ちいい事楽しんで、
大人のオトコになろうね・・・♪

(■※あえぎ声 30秒ほど)

花蓮 「はあ・・・真由莉さん、
セックスもえぐいねえ・・・。

普段あんなにしとやかで上品なのに、
セックスが始まった途端、
あんなにぐりんぐりん腰振って・・・
おっぱいばるんばるんバウンドさせて・・・

(■※耳元に寄って、耳舐めに変更)

ちゅぱちゅぱちゅぱ・・・
ふふ、こんなの、
さっきまで童貞だったボクくんには、
刺激が強すぎるよねえ・・・♪
れろちゅぱちゅぱちゅぱ・・・

こんなの、これから毎晩
ボクくんの夢に出て来ちゃうね・・・♪
ちゅぱちゅぱ・・・♪
ボクくん、これから毎晩夢精しちゃうね・・・♪

(■※耳舐め30秒)

真由莉「ん？ な～に・・・？
あ、 んっ あっ・・・
お口が空いた途端、おっぱい吸いたいの・・・？

じゃ、状態起こそうか・・・？
おっぱい吸いながら、授乳セックス、
しよつか。 ほら・・・♪

(■※マイク近づく)

(■※キスよりは少し遠い距離で)

あん ♪ んっ… はっ んっ んっ…
ちゅうちゅう吸って…可愛い… ♪

ん、あっ んっ ほら、ぎゅ〜〜〜〜っ ♪
おっぱい吸う赤ちゃんみたいに、抱きしめてあげる… ♪
よしよし…よしよし… ♪

んっ あんっ あ、 んっ はあ… ♪

(■※ピストン。喘ぎ声30秒ほど)

花蓮 「おっぱい吸いながら
おまんこハメるのも、興奮しちゃうね… ♪
ちゅぱちゅぱれろ…

腰へこへこ必死に動かして…
夢中になっておっぱいちゅうちゅうして… ♪
ほら、ぱんぱん ♪ ぱんぱん ♪
へこへこ、へこへこ ♪

ちゅぱちゅぱれろ…
ふふ、赤ちゃんセックス、気持ちいいですか〜 ♪

(■※耳舐め 30秒ほど)

真由莉「ふふ、でもダメよ？
このセックスは、ボクくんが大人で
一人前の男性になるための
セックスなんだから… ♪

んっ ふっ…

ほら、大人のキス、しよ…？
んんっ ちゅぱれろちゅぱ… ♪

この前までのセックスみたいなキスじゃなくて、
ほんとにセックスしながらの深〜いディープキス…♪

ちゅばれろちゅばっ…♪
上のお口も下のお口もねっつとり…♪
ぬちゃぬちゃに絡み合うセックス…しちゃおうね…♪

ん、ちゅっ んんっ ちゅばれろっ

(■※キスハメ音 30秒ほど)

花蓮「うわ、すごい…♪
もうボクくん、ぐっちゃぐちゃ…♪

れろちゅばちゅばちゅばちゅば…
流石にもう出そう…？
いいよ…？ 出しちゃお？
ちゅばちゅば…

真由莉さんとぐちゃぐちゃに
溶けあうみたいなセックスしながら、
いっぱい中出し…しちゃおうね…？

(■耳舐め 30秒)

真由莉「出していいよ…？
ちゅばれろちゅば…♪
恋人以上の濃厚なキスしたまま、
めいっぱい中に出して…？

(■※キスハメ音 20秒)

(■※射精)

んんっ…！！

ん…♪　ちゅ…　ん…　ちゅぱちゅぱ…♪

ん…　れろ…　ん…　んっ…

ん…　ちゅ…　ん…　ん…　ちゅ…

ん…　れろ…　ん…　んっ…

花蓮「わあ、出ちゃったね…♪　れろちゅぱ…

真由莉さんの暖かい中に…♪

ぴゅっぴゅっ…　ぴゅっぴゅって…

また元気に勢いよく射精…

しちゃってるね…♪

(■※耳舐め　10秒)

真由莉「つぶあ…♪　はあ…♪

とろ～んって、蕩けた顔可愛い…♪

ちゅぱちゅぱ…♪

んあっ・・・ お射精、お疲れ様・・・♪
ボクくんったら、とっつ ても気持ち良さそうに
射精していたわよ・・・♪

んあっ・・・♪ んっ・・・ 最後まで
絞り出すみたいに、おまんこでしめつけて・・・

んっ・・・ あっ・・・♪

ふふ、おちんちん、抜いちゃうね・・・？

(■※マイクから少し離れて)

ぬふふふふふ～～～～っ・・・

んっ・・・ はあ・・・♪

(ぬぼんっ)

花蓮 「いつもの事だけど、
今回もまた凄い量の射精したねえ・・・♪

ほら、真由莉さんのおまんこから、
どろ～～って、溢れかえってるじゃない・・・♪

真由莉「んあっ・・・♪ ほら、じっくり見て・・・？
ボクくん、こんなにいっぱい中出ししたのよ・・・？
ほら・・・♪

花蓮 「あは、真由莉さんみたいな上品な女の人が、
自分からお股開いて見せてるの、
エッロお・・・♪

二発目なのにこんなに溢れるくらい中出しして・・・
ボクくん・・・そんなにセックス・・・
気持ち良かったの～・・・？

ん〜？ 最高だった？
ふふ、良かった…♪

じゃあ、またおそうじフェラで
優しく労わってあげるね…。

れろ… ちゅぱれろ…

(■※優しいおそうじフェラ 10秒ほど)

真由莉「じゃあ、約束よ…？
今後はちゃんと自分の力で、お店に来ること。

(■※マイク右耳 囁く感じで)

もし一人前の大人になれば、
その時はまたお店に内緒で
好きなだけセックス… させてあげるから…♪

その時にまた、会おうね…♪
ちゅっ…♪

(〜終〜)